

〔玉城 勇議員 登壇〕

○1番 玉城 勇君 それでは、一般質問の最終日になっておりますけれども、時間をかけながらゆっくりと進めていきたいと思ひます。きょうは3点準備しておりますので、時間もあると思ひますのでひとつ丁寧な答弁をお願いしたいと思ひます。

1点目に、園児・児童・生徒を交通事故から守るための対策についてお伺ひいたします。

(1) 最近、事故のニュースが多いと思ひます。これは県内を含めて全国的に非常に多いと思ひます。先日も、本土のほうでありますけれども、保育園児が交差点で事故とのニュースがありました。本町では、事故防止に向けてどのような対策を行っているかお伺ひします。

(2) 現在、本町では各自治体においてPTA及び少年補導員、ボランティアの皆様が通学路や校門前での横断のための交通安全活動を行っています。ほかに町内でどのような場所で活動し、何名の方が参加しておられるかお伺ひします。(3) 園児や児童・生徒が安心して通学できるように、交通安全活動のために新たなボランティアグループ、各種団体、個人にもお願いして立ち上げ、取り組むことができないかお伺ひします。

2点目に、財政の安定化についてお伺ひします。南風原町の財政状況が大変厳しい状況にあると町民の皆様も心配しております。今後、財政安定化に向けてどのような対策を行い、何年後をめどに改善できるかお伺ひします。

3点目、沖縄振興特別推進交付金活用についてお伺ひします。沖縄振興特別推進交付金最後の活用について、あと2年で終了しますので、そろそろ最後の取り組みの検討が必要かと思ひます。そこで活用について区長会や各種団体、町民の皆様からアイデア募集を行う考えはないかお伺ひしたいと思ひます。以上、よろしくお伺ひします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目の園児・児童・生徒を交通事故から守るための対策について。(1)についてお答えします。本町では、与那原署や関係団体と連携のもと、信号機や横断歩道などの安全施設の設置、交通安全広報や立哨活動等の交通安全啓発行動を行い、事故防止に取り組んでおります。

(2)についてお答えします。各地域内の通学路や校門前にて、老人クラブなどの団体及び個人のボランティアの方が活動をしております。また町職員においても、交通安全月間や毎月1日に兼城十字路や南風原中学校前交差点、照屋交差点、津嘉山児童館近くの交差点にて立哨活動を実施し、町内で合計約400名が活動していると把握をしております。

(3)についてお答えします。現在、PTAや少年補導員、老人クラブなど多くの団体、個人の方々に交通安全ボランティアを行っていただいております。町としては引き続き、情報共有や連携を行いながら、交通安全活動を行っていききたいと考えております。

質問事項2点目の財政安定化についてお答えします。現在、行政改革検討委員会を立ち上げ、中期財政計画の見直し及び機構の再編について取り組んでおります。その中で新たな歳入の確保や事務事業の見直し等による歳出の削減、組織体制の見直しについて調査検討を

重ねているところです。また、財政状況については、国保会計における累積赤字の解消、さらに将来の財政負担や不測の事態に対応できるだけの十分な基金を確保することで基盤の安定が図られますので、改善の目途についても中期財政計画において見通しを立てていきたいと考えております。

質問事項３点目の沖縄振興特別推進交付金活用についてお答えします。沖縄振興特別推進交付金の活用は、アイデアを広く募集することで新たな事業展開につながる可能性もありますので、アイデア募集について検討してまいります。以上です。

○議長 知念富信君 １番 玉城 勇議員。

○１番 玉城 勇君 ありがとうございます。それでは１点ずつ質問をしていきたいと思います。今回の１点目の質問については、やはり本土のほうで児童生徒の列に車が突っ込んできたとか、あるいは殺傷事件があったとか、そういうものを受けて毎日のニュースで取り上げられておりました。沖縄県でも児童虐待とかいろいろな事件が発生しました。これは全国版にもなっておりますけれども、そのようなニュースを受けて、南風原町としてどのような取り組みができるのか、あるいはどのような検討をされたのか、質問したいと思っております。

まず最初に、神奈川県のカ崎市で５月２８日でありますけれども、児童殺傷事件がありました。それを受けて県内の町村において、警察署と学校での訓練が行われております。子供たちを守るために、あるいは不審者を校内に入れないために、そういう訓練を行っております。企業においては、店舗に入る不審者を従業員等が、警察が来るまで店から出さないような、そういう訓練が行われております。また那覇市の小学校においては１１０番の家、場所を確認しながら下校させると。そういう訓練等が行われておりますけれども、南風原町においてどのような訓練、あるいはまた指導を行ってきたのか、それについてお答え願いたいと思います。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 それではお答えいたします。全国各地で児童生徒が犠牲となる交通事故が多発していることに大変憂慮しているところであります。議員から質問がありました件について、一つ一つ、その後、訓練とかをやった実績はありませんが、ただ役場庁舎内部で情報の共有、各部長へ情報連携をとって、組織体制を強化していくという連携はとっておりますが、今後個別の訓練等、それについては今後、防災、防犯も含め、交通安全対策も含めて、今後、計画を立てて取り組んでいきたいと考えております。

○議長 知念富信君 １番 玉城 勇議員。

○１番 玉城 勇君 その計画と、あるいは実施に向けての作成する機関とか、あるいはいつごろ訓練するとか、その辺はスケジュールに載っておりますか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 具体的なスケジュールはこれからであります。ただ、早期に実施していきたいと考えております。また、我々よく役場側ではないんですが、教育委員会にお

いては校長、教頭会を通して各学校との事故に対する危機管理の連携をとっていると聞いております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 学校あるいは幼稚園、保育園等ですので、民生部あるいは教育部も関連すると思いますけれども、特に学校において、校長会や教頭会がありますけれども、教育委員会との連携というのはどのように捉えていて、どのような検討をこれからなさっていくと考えているのかお答えをお願いします。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 まず、先ほどおっしゃっていましたが、いろいろ事件、事故、その辺については校長、教頭会のほうでも、我々のほうから注意喚起等を行っています。まず一番最初にこちらのほうで行っているのは、連絡網の再確認。それから不審者に対する学校での対応等について、一旦こちらのほうから注意喚起も含めて対応を求めています。学校のほうでも今現在は登下校を含めて門扉を閉めるとか、学校の中をパトロールするとかという対策をとっております。それからいろんな情報に対して、うちの教育委員会、それから総務部総務課のほうと連携をして、警察などから来た場合、速やかに我々のほうと総務部総務課のほうから連絡が各学校、それから幼稚園のほうに届くようにという連絡網の確認をいたしています。さらに学校のほうではよく聞いていますね、「いかのおすし」という標語をもって、どういうふうな対応をするかということでの、子供たちへの啓発とか学習とかを行っています。あとは今後の対応についても、またアフターファイブの先生方の連絡網の体制強化ということについても話し合いを持っております。以上となっております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 こども課のほうで保育所を見ておりますけれども、特に子供たちの列に突っ込んだ事件がございますけれども、それを受けての町内の保育園との連絡というのはどのように捉えておりますか。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 5月8日に、滋賀県で痛ましい事故がありまして、早速5月10日に厚労省の通知などもございました。この通知を受けまして、保育所外での活動の際の移動経路の安全性や職員の体制などの再確認も含めて、保育中の事故防止、安全対策には取り組んでいくことと。あとさらに、保育所外での重要な活動であること、移動を含めて安全に十分配慮しつつ、引き続き積極的に保育所外での散歩なども含めて活用していくということ。2点については、通知を行いました。その後、具体的に各園から交差点の危険箇所という部分の相談などがございましたが、そういった部分は総務課の交通安全担当を通して与那原署を含め、情報連携をしていくということも確認をしております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 こども課長は、元の総務課長ですから、署との連携は十分にとられていると思いますけれども、頑張っていただきたいと思います。質問を続けて行きます。先ほ

どの答弁にありましたように、信号機や横断歩道の安全施設の設置という答弁がございました。町民から設置箇所の増設の要望はなかったのか。これまでもいろいろあったと思いますけれども、その事件後、それがあったのかどうか、これについてどのような要望があったのか。あるいは立哨活動を行っているという答弁もございましたけれども、立哨活動をしている皆さんからの要望はなかったのか。立哨活動が少ないとか、人数が少ないとか、そういうのはないのか、その辺はいかがですか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 それではお答えいたします。交通安全の施設の設置の要望については、事件後、事件前限らず、絶えず自治会、またこの議会を通して施設の設置の要望がございます。また立哨については、各自立哨していますが、それぞれの方々が努力して、頑張って協力しております。ただ不足だとか、そういった要求等はございません。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 事故防止に向けて、沖縄県に予算があるんですけれども、今、青パトが夕方から夜間にかけてパトロールを行っておりますけれども、沖縄地域安全パトロール事業の予算が年間8億7,000万円、県内の青パトが使っている予算があるわけです。これについて県のほうと協議を行って、一部市町村に回すようなことができるのであれば、その青パトを自治体で運行していくという方法がとれないのかと考えたりするんですけれども、去年も8億7,000万円、平成31年度も8億7,000万円、同額の予算措置をされているんです。既にご存じだと思いますけれども、これについての活動についての話し合いとか、そういうことはやったことはないですか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 県内、また町内ですね、青い点滅灯をつけた車がパトロールをしているのは認識しておりますが、直接この事業について町で活用できるのかどうかは、まだ検討しておりませんので、今後こういったものが町でできるのかどうかを協議してまいりたいと考えております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 県に任せてもいいんですけれども、やはり地元であればもっと細かくコースを変えたり、あるいは必要な時間帯のパトロールも可能であると思いますので、もし県が了解するのであれば、是非協議をしていただきたいと思います。

それでは(2)に移ります。まず、先ほどの答弁にありましたように、各地域内の通学路や校門前にて、老人クラブなどがあるんですけれども、この老人クラブ等は昼後の3時とか4時ごろのパトロールだと思いますが、その老人クラブも子供たちを守るための通学路や、あるいは校門前での活動に参加しているのか。これを一つ、自分の見た範囲では昼後の活動だと思いますけれども、ほかの地域でもやっているのか。これについて確認したいと思います。

○議長 知念富信君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 お答えします。老人クラブのほうは、議員がおっしゃるように防犯のほうで下校時の見回り等も協力いただいておりますが、朝の交通安全に関しましても、与那覇のほうも、イオンの近くですね、下のほうでの立哨、また本部地域のほうも照屋交差点のほうの立哨も行っておりまして、新川の老人クラブのほうも資料館の前ですか、あのあたりの立哨、朝の交通安全の指導を兼ねて、また挨拶といいますか、そういう声かけのほうもやっております。第2団地も通学路でやられていると。現在、私たちが把握しているのは以上です。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 ありがとうございます。老人クラブが大分頑張っているような答弁でしたけれども、本当にご苦労さんだと思います。そこで町内で約400名の方が活動しているということですが、1日単位で、1日単位で活動者数は何名ぐらいになっているのか。どのぐらいの方が活動しているかを、もし把握していれば教えていただきたいと思えます。

○議長 知念富信君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 お答えします。全体の総数でしか把握はしておりません。以上です。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 これは1年間で活動している人数が400名ということですよ。延べ人数ではないと思うんですが、1日単位ですと何カ所で何名ぐらいの方がそういう活動をしているのか、これをちょっと知りたいんですけれども。実はですね、これは私が自分なりに学校周辺を回ってみたんですけれども、調査したところ、南風原は6校ございますけれども、全体で最低でも27カ所の交差点、あるいは交差点でなくても横断する箇所がありますので、そこを含めると27カ所ぐらいあると思いました。先ほどの各部落の交差点とかは省いておりますが、学校周辺において、まず詳しい場所は省きますけれども、北丘小学校でも11カ所ぐらいございました。南風原小中学校で5カ所ぐらい、翔南小学校4カ所、南星中学校が校門前の1カ所、津嘉山小学校が6カ所程度、やっぱり学校近くはそれぐらい必要かなと。道路横断とかの場合に最低でもそれぐらいの箇所が必要ですが、それ以外に各部落において活動しているわけですから、それが何カ所ぐらい、月曜日から金曜日まで毎日行っているのか。あるいはポイント的に、個人的に何名かやっているのか、そういうのがわかれば教えてほしいんですけれども、皆さんが調査した箇所、あるいは今私が話をした学校周辺を含めると何カ所ぐらいで安全指導を行っているのか。もし、わかりましたらお願いします。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 それではお答えいたします。議員おっしゃった箇所での活動は把握しておりません。ただ、延べ人数、各自治会から報告があった人数、また我々職員と、交差点に立っている、習慣等で立つ14カ所、プラス広報車で回っていますので、そういつ

たところで活動を実施しているところです。また、当然各ボランティアでは学校前の立哨活動もされていますので6校、各主要交差点の14カ所、各自治会がそれぞれ行っているということで認識しております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 町のほうでやっているのも大変ご苦労さまと思います。それで今、多くの地域で取り組んでおりますので、是非町のほうでこれを把握して、あるいはその皆さんにご苦労さまという意味を込めて、それぞれに新たにお願いしますという文書送付とか、会合を持って、皆と一緒に確認をするような、そういう情報交換の場を設けながら取り組んでいただきたいと思います。那覇市においても、全県的な取り組みになるような、そういう取り組みをなさっておりますので、各学校と地域、あるいは警察との連携をとって、取り組めるようなそういう計画を練っていただきたいと思います。せっかく頑張っている皆さんですので、いま一度、取り組み方を強力にお願いしていただきたいと思います。

それでは3点目に移りたいと思います。今の1番から2番をまとめるような質問になりますけれども、先ほど副町長の答弁にもありましたように、特にPTAの皆さん、あるいは少年補導員、老人クラブ、団体、個人と、多くの方が交通安全ボランティアを行っております。そこで私が質問している、新たに町民へ協力依頼についての考えはないのか、今やっている皆さんだけでそれは継続してほしいのか。先ほど私が述べたようにパトロールしたり、朝の登校時の交通安全、見守り、交差点での立哨等をしますと、もう少し必要かと思うんですけれども、それについて新たに協力を願う団体あるいは個人について考えを持っていないかどうか、お願いします。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 今現在、老人会、PTA、各自治会と連携をとって、既に交通安全、防犯関係の活動をしているところであります。現段階では新たな組織の立ち上げはまだ検討しておりませんが、それぞれの今活動している組織の拡充は必要なことから、そういった関係団体と協議を図り、どのようにして、さらに交通安全、防犯活動が充実、強化していくのか、協議をして検討していきたいと考えております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 それでは、是非検討していただきたいと思いますけれども、提案として、まずこれまでの区長会も頑張っております。それから役場の皆さんも頑張っております。そこで役場のOBの皆さん、それからJAのOBの皆さん、もちろん現職の皆さんもやっておりますけれども、そのOBの皆さんや、あるいは定年された皆さんで時間の調整ができる皆さん、そういった町民へ、もちろんお互い議員も含めてでありますけれども、全ての町民が、時間が調整できる方は皆で協力すれば、本当に安全なまち、あるいは子供たちを安心、安全で登下校できるような、そういう地域にできると思いますので、それについていま一度、南風原町全体の問題として捉えて、それについて取り組んでいただきたいと思いますという思いがしますけれども、是非思いを聞かせていただきたいと思います。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 町民の財産、身体を守ることは本町にとって一番最優先課題でありますので、安心して暮らせるまちづくりを目指して、これからも強化して取り組んでまいりたいと考えております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 それでは、やはり最後は町長にお聞きしたいんですけれども、町長も教育長として、あるいは教育行政を長年なさっておりますので、学校との連携関係、あるいは子供の育成について頑張っておられております。そこで、やはり本町の未来を背負う子供たちの育成のために町として決意をあらわしてほしいんですけれども、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 答えいたします。勇議員がおっしゃるとおり、南風原町の将来を担う子供たちのためでございますので、町を挙げて、町民、皆で一致協力して、子供たちのために取り組まなくてはいけないことが、安心、安全を守ることだと思っております。その中で、やはり先ほど担当部長からございましたように、今現在、それぞれ町民の皆さんに力をかしていただいて、取り組んでいる団体、事業等がございますので、さらにこれを強化する意味でも、現在の取り組みを強化していくということでございます。一応、考え方としましては、子供たちのために今できることは、とにかく何でもやろうじゃないかという考え方のもとで取り組んでいるわけでございますので、議員から新たなボランティアグループの立ち上げ等もございましたが、それも大事かもしれませんが、その前に、まず今やっている、今取り組んでいることをもう少しオーソライズしながら強化をしていくという考え方でもよろしいかと思います。毎月第3金曜日に防犯パトロールをやっておりますけれども、徐々に参加するメンバーが少なくなっているような気がしますので、そのあたりももう一度、何といたしますか、協力を再びお願いしていくと。それでパトロールにできるだけ多くの団体の方々に参加していただくということにも、力を入れていくべきかと思っておりますので、そのように頑張っていきたいと思っております。以上です。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 町長がおっしゃるように、今現在頑張っている皆さんに、再度頑張っていただくということもいいと思います。しかし、今、自治会において、自治会の公用車を持っている地域については防犯パトロールのステッカーを、マグネット式ですか、やっておりますけれども、それは非常に効果があると思いますが、各地域にこれは配付されているのか。それは独自で購入しないといけないのか。これについてはどういう対応をなさっておりますか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 各自治会で張っているステッカーについては、以前にやったこととありますので、町がやったのか、独自でやったのか、現在、確認できておりません。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 同じことですね、やはりステッカーがあることによってパトロールができますので、可能であれば、再度作成して、以前はどこでやったかわからないということでもありますけれども、町のほうで作成できるのであれば作成して、それを配っていただきたいと思いますので、ひとつよろしく願いいたします。

それでは2点目の財政安定化について質問をしたいと思います。南風原町の財政が大変厳しいということが本議会でもありましたし、それから新聞紙上にも国保の関係が掲載されておりました。また、多くの方が心配しておりますけれども、まさか南風原町がこういう状況なのかと。南風原町は、福祉の面、教育の面、県内でもトップクラスだということで南風原町に居を構える皆さんが非常にふえてきていると。人口も4万人、もう目の前だと思えますけれども、そういう南風原町が県内でも大変厳しい団体になっているということで非常に心配しております。そこでこれを改善していくために、町長はあと二、三年では脱却できるというお答えもなさっておりますけれども、現実の問題として、今、行政改革検討委員会を立ち上げたということでございますけれども、これは年度内に計画書を作成して、次年度からそれに基づいて取り組んで行かれるのか、その辺のスケジュール的なものはどうなっておられるか、もう一度答弁をお願いしたいと思います。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 今、行政改革推進委員会で財政部会、機構改革部会、2つの部会を立ち上げて鋭意行政改革の、中期財政計画等の作成に向けて取り組んでいるところであります。それで本年度で作成し、次年度から実施をしていきたいと進めているところであります。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 それでは、財政計画がしっかりしていないと、町の事業も推進できないわけでありますので、出るのは決まっているんです。でも入るのが不確定なんです。それをどういうふうに確保していくのかというのが大きな仕事だと思うんですが、削るだけではだめなんです。やっぱり義務的経費については、どうしても確保しなければいけないと。あるいは建設的な事業をカットしていくのかと。またそれも全てできるわけではありませんで、その辺でどうしても将来的に、財政調整基金の積み立ては必要なんです。私も以前から基金残高について質問をしたことがありますけれども、南風原町は基金を取り崩すのが非常に大きいんです。国保を除いてでも本来南風原町は、もっと基金があるべきだったんですけれども、それが年々減ってきてまして、この基金の積み立てをどのように検討されていくのか。家庭では貯金が一番大事なものですから、これがあるからいざというときに取り崩しができるわけです。本町の場合はそれができないような状況になってきている。それを今年度、これを計画していくということでもありますけれども、この基金についてどのようにお考えなのか、その辺ちょっとお聞きしたいと思います。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 やはり持続可能な財政運営をしていくためには、財政調整基金



の確保が重大なことになってくると認識しております。現在は、約3億円でありまして、本年度は当初予算で財政調整基金を取り崩さずに予算編成を行ってきました。ただ、必要なときにはこの基金からの繰り入れが必要となりますので、今後、財政調整基金の確保も力を入れて取り組んでいきたいと考えております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 ちょっと資料がありますけれども、やはり全国の町村会においても、研修とかがありますが、その中でも一番大事な財政調整基金の積み立ては計画的に進める必要があると。目標を設定しないといけないですね。そこで、一般会計の歳出では義務的経費、人件費、扶助費、公債費と決まっておりますけれども。それから投資的経費、普通建設事業費等を見るように区分されておりますけれども、今現在、インフラなど公共施設の整備が大きな課題であったんですけれども、高度経済成長あたりまでは投資的経費にウェートを置くことが重要でありました。しかし、今日の成熟経済社会の時代に、あるいは人口減少社会ではその意味が変わってきている。ですから、これまでのように投資的経費重視ではなくて、持続可能な投資が未来に向けて確保できるか。同じ投資にしても、将来に向けての投資と。ただ単に箱物をつくるだけではだめですし、本当に計画的に予算の執行を思い切って検討していかなければ、今の財政健全化というのは厳しいだろうというふうに言われておりますので、是非計画に当たってはそのようなことも念頭に入れながら、本当に南風原らしいまちをつくるために、思い切った改革をやる意味で計画を検討していただきたいと思いますので、是非今年度頑張っていただきたいと思います。

国保については、これは国保加入者の皆さんのために頑張ってきたことは非常に評価します。ただ、やっぱりもう少し前に検討すべき点もあったのかなと、私も反省しますけれども、既に支払いが始まっておりますので、約17億円の補?についてはやむを得ない結果になっておりますけれども、それを受けて、新たな南風原町をつくるために、是非思い切った検討をしていただきたいと。検討委員会が進めておりますので、中長期財政計画の見直しをして、確立をしていただきたいと思います。お願いします。次に移ります。

最後の質問になりますけれども、沖縄振興特別推進交付金の活用について、以前にも質問したことがございますけれども、やはり町民からのアイデア募集はやっぱり不可欠だと思います。今回、答弁にもありましたように、アイデアを広く募集することで、新たな事業展開につながる可能性もありますので、アイデア募集を検討してまいりますということでございますので、やっぱり申請の時期に間に合うように、早目に検討をまとめて多くの町民、あるいは企業等の募集を行っていただきたいと思います。急ぐ理由は、これまで平成31年まで含めて8年間の沖縄振興一括交付金、その中の沖縄振興特別推進交付金、ソフト交付金でありますけれども、これが近年、毎年減額されているんです。去年とことしだけでも47億2,000万円の減額になっているんです。ですから、あと2年間減額される可能性がありますので、是非減額されても南風原町の計画が事業にのるように、是非それを、遅れることがないように取り組んでいただきたいと思います。また、それとは別に今年度から、平成

31 年から始まった事業ですけれども、沖縄振興特定事業推進費という 30 億円が新規にできました。一括交付金、ソフト交付金の補完をして、特に沖縄の自立的発展に資する事業であって、機動性を持って迅速、柔軟に対応すべき市町村等の事業を推進すると。ですからこういう新たな予算も生まれておりますので、皆さんのアイデア募集を検討しながら、この事業を活用していくという事業ができると思いますので、これについて、もう一度、見解をお伺いしたいと思います。

○議長 知念富信君 企画財政課長。

○企画財政課長 与那嶺秀勝君 今、ご提案のありました一括交付金の補完的な事業についても検討してまいります。